

選ばれる企業は、はじめてる

# SDGs

## をビジネスに

Sustainable Development Goals

身近な企業による取り組みやアイデアが、意外にもSDGsに関係していることをご存知ですか？ 環境や社会問題に目を向けることは、地域貢献となり、社会から信頼を得ることができるのはもちろん、新たなビジネスチャンスに繋がります。



Pick up!

はじめています

1. びわ湖とSUPをかけたイベントの実施
2. サンシャインビーチの管理棟を有効活用
3. 湖上マーケットの実施



### LIFE LINES PRODUCT

ライフラインズプロダクト

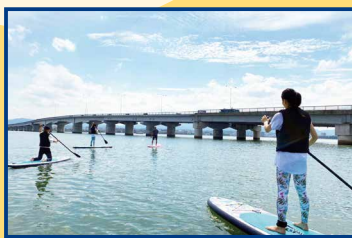
☎070-3352-0267  
 大津市馬場1-4-30 スペースVANVA1 205号  
 大津市由美浜なぎさ公園管理棟 Sunshine×BASE

SNS 戦略指導や WEB サイト制作、YouTube の企画・制作、イベントプロデュースなど、企業の魅力と想いを伝える配信をサポートする企業。また、大津市の湖岸活用事業に力を入れるなど、地域の誇れる資源を日常的に活用するアイデアをカタチにしている。



代表 岡崎健一さん

大津の魅力を届けたいという使命感から、びわ湖岸のビーチで SUP イベントを開催。地域の想いと事業をマッチングした。今後は湖上マーケットなども計画しているそう。



サンシャインビーチの管理棟を自らの手でDIY。より心地よく過ごせるようにと、テイクアウトのカフェやリクライニングチェアなどを用意しているから、誰でも気軽にくつろげる。



ブランディング事業を得意とする同社が、大津の魅力を多くの人に体感してほしいと力を入れているのがサンシャインビーチの活性化。まずは地域資源であるびわ湖に、ビーチでのアクティビティ「SUP」を掛け合わせたイベントを開催した。目指すべき大津の姿を思い描いて出てきたキーワードは「賑わいの日常化」。大人はもちろん子供が喜ぶ企画も実施し、自分たちの町を素敵だと思ってもらえる工夫を散りばめた。さらに、2021年からサンシャインビーチの管理棟を、誰でも気軽に利用できるリーススペースとして活用・運営。既存の建物や素材をそ

のまま活かす、魅力をプラスしていくことで、持続可能な町の活性化を目指している。滋賀県、びわ湖、SUPメーカーなど多くの人と共同で行う事業。信頼関係を築くうえで大切に行うことだけ。プロフェッショナルな方々と一緒に取り組むからこそ、プロセスはお任せしています」と話してくれた。そのうえで意識しているのは、熱意の伝達！岡崎さんは「都市公園の『あつたらしいな』を叶えながら『賑わいの日常化』を実現したい」と笑顔を見せてくれた。

町の賑わいを日常化したい  
 子供達が自慢できる大津へ